要約（邦訳）

Additional report about the validity of the Jung Psychological Types Scale

Jung の心理学的タイプ測定尺度（JPTS）の妥当性に関する追加報告

佐藤淳一　武庫川女子大学文学部心理・社会福祉学科

Jung の心理学的タイプ測定尺度（JPTS）は，Jung の心理学的タイプを測定するため，最も近年に作成された尺度である。JPTS は外向－内向，思考－感情，感覚－直観という，タイプ論の直交，3 次元モデルによく適合している。JPTS の尺度形式は双極型の 7 件法であり，項目内容の適切さは Jung 派分析家 2 名によって確かめられている。本研究は，日本人大学生のデータを用いて，JPTS のさらなる妥当性を査定することが目的である。JPTS の併存的妥当性を検討するため，the Gray-Wheelwrights Test/Jungian Type Survey（GW/JTS）と the Myers-Briggs Type Indicator（MBTI）との関連を，心理学的タイプを類型化して検証した。MBTI Form M のデータは，過去の先行研究（佐藤，2003，2005）を利用した。JPTS の併存的妥当性の証拠が，MBTI Form M との心理学的タイプの一致度に基づいて示された。こうした結果から，類型化アプローチによる JPTS のさらなる妥当性の支持が得られたことが示唆された。

キーワード：心理学的タイプ，Jung Psychological Types Scale，Gray-Wheelwrights Test/Jungian Type Survey，Myers-Briggs Type Indicator，妥当性